

# 母子草

発行所  
水戸市八幡町11-52  
ラク・ハイツ内  
社会福祉法人  
茨城県母子寡婦福祉連合会  
029 (221) 7505  
編集発行者  
境 洋子

第524号



県母連は共同基金会の受配団体です。



## 会長新年のご挨拶

社会福祉法人 茨城県母子寡婦福祉連合会 会長 境 洋子

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から茨城県母子寡婦福祉連合会の活動に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大により、非正規雇用労働が多いひとり親家庭においては、会社の休業、勤務時間の短縮などにより、収入が激減するなど、一層の支援が必要な事態となっております。ひとり親の所得の不安定によって子どもが貧困の状況に置かれ続けると、教育格差の拡大や社会的損失の拡大などが懸念され、子どもの将来に悪影響が及ぶことから、母子寡婦福祉の施策を積極的に活用し、自立の促進に結び付けていかなければならないと思います。

そのような中、昨年12月には、2回目の「ひとり親世帯への臨時特別給付金」が支給されました。これにつきましては自由民主党母子寡婦福祉対策議員連盟の永岡桂子会長様をはじめ関係者の皆様が政府に要望

して実現がなされました。ご尽力をいただき厚く御礼申し上げます。また、地域におきましては、一般の方々から心温まるご支援をいただいているという話も伺っております。これまで、母子寡婦福祉施策につきましては、長い年月を経て母子寡婦福祉団体が主体となって国に要望を続け、制度が見直されております。

しかしながら、各市町村の母子寡婦福祉会におきましては、役員の高齢化、会員の減少により会の運営の衰退が懸念されております。先人達が私たちを育ててくれたように、今は、若い会員の皆様が安心して仲間づくりができる魅力ある会となるよう取り組んでいかなければならないと思います。

この歴史ある会が母子家庭等のために成し遂げた偉業を若い会員に伝えと共に、母子と寡婦の連携を密にし、微力ではございますが、会の活性化のために努めてまいりたいと思います。

結びになりますが、本年も、皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年の挨拶といたします。



## 知事新年のご挨拶

茨城県知事 大井川 和彦

新年あけましておめでとうございます。

日頃から、ひとり親家庭や寡婦の方々の福祉の向上にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、今なお、今般の新型コロナウイルス感染症の流行により国内外が未曾有の危機に直面する状況が続く中、皆様の感染症対策へのご協力に対し、改めて感謝申し上げます。

さて、県では、「挑戦」「スピード感」「選択と集中」の三つの基本姿勢により、困難な政策課題にも明確な目標を設定し、躊躇せず取り組んでおります。

その結果、最も重要な施策の一つと位置付けた医師

確保は目標数達成の見通しが立つとともに、企業誘致は2年連続全国トップの実績を上げ、農産物の輸出額は3年間で5倍に拡大いたしました。最新の平成29年度県民経済計算の推計結果においては、名目・実質の経済成長率は全国第1位となり、長年最下位だった魅力度ランキングは全国第42位となり全国的に大きな話題となったところではあります。

多くの挑戦により結果を出し、「茨城県はやればできる!」といった潜在能力の高さが証明されたところであり、新型コロナウイルスの影響によって、社会情勢や人々の価値観が大きく変わるこの変革期にこそ、

これまで培ってきたチャレンジ精神が活かされるものと考えております。

引き続き、感染症対策と社会経済活動の両立にしっかりと取り組みながら、東京オリンピック・パラリンピックなどを契機に茨城の魅力を世界に発信するとともに、デジタル社会の構築や力強い産業の創出、教育環境の充実、次世代を担う人財の育成など、未来への投資につながる施策に積極的に取り組んでまいります。

また、母子寡婦福祉につきましても、子育てに対する負担や収入減少等により厳しい状況にあるひとり親

世帯を支援するため、昨年は、臨時特別給付金を2回にわたり支給したところであり、引き続き、ひとり親家庭等の生活の安定と自立促進を図るため、児童扶養手当の支給、福祉資金の貸付けなどの経済的支援をはじめ、子育てや生活全般、就業等に係る相談から就労・自立に至るまでの支援サービスの向上などに力を入れてまいります。皆様方には、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、茨城県母子寡婦福祉連合会の益々のご発展と、皆様方にとりまして、本年が爽やかな素晴らしい1年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

## 県北・県西ブロックだより

### 近場で楽しみました

日立市母子寡婦福祉連絡会

会長 福田 ヒサ子

コロナ禍の中ですが、親子すこやか事業の一環として10月24日（土）に現地集合のしやすい「かみね公園」散策の実施をしました。かみね公園は動物園・遊園地・レジャーランドに分かれており、各家庭の希望により各々楽しみました。

レジャーランド組はドリームコースター・ゴーカー・スカイトレイン・大観覧車等、母子で乗り物を楽しみました。

動物園は大変な人出です。駐車場は県外ナンバーの車

で満車です。コロナ禍の中で息抜きを兼ねての家族連れの野外散策でしょうか。子供たちの歓声も山全体に響きそうな賑わいでした。9月にキリンの子どもが生まれたニュースもあり「クルミ」と名を付けられた可愛らしい姿に子供達を取り囲んでいました。

近くには吉田音楽記念館・郷土博物館・市民プール・ホリゾンかみねと楽しめる場所です。ぜひお出かけ下さい。



### コロナ禍の常陸大宮市の活動

常陸大宮市母子寡婦福祉会

母子部長 阿久津 幸子

オリンピックイヤーの2020年は、1月に寄港したダイヤモンド・プリンセス号が、得体の知れないウイルスを連れてきてしまい、状況が一変してしまいました。

私は、3年前の夏の親子レクに初めて参加しました。それを機に母子会員になり、毎年、春夏秋の親子レクを楽しみにしていました。今年度も勿論参加予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に因り、春が中止となりました。当初は季節性ウイルスだと思っていたので、春が中止でも、夏と秋があると考えていました。しかし、新型コロナウイルスは終息せず、日々感染拡大しつづけています。常陸大宮市母子寡婦福祉会の親子レクは、全て中止となってしまいました。市内の恒例行事も中止でした。子供達が楽しみにしていた事は、全て無くなってしまいました。2020年の恒例行事として残されたのは、クリスマス会のみとなりました。現状を考えると、クリスマス会の開催は難しく、でも何か子供達の楽しみを

作ってあげたいと、母子会員、社会福祉協議会の方と話し合いをし、クリスマスプレゼント配布のみなら出来るのではないかと、計画をしました。参加者へのマスク着用をお願い、できる限り密にならない様、ソーシャルディスタンスを守って実施致しました。参加者は、プレゼントを受け取ると、皆笑顔で会場を後にされていました。子供達の嬉しそうな笑顔にこちらまで笑顔になっていました。昨年は、親子レクは行う事が出来ませんでした。クリスマスプレゼントを無事配布できた事を嬉しく思います。

どうか1日も早く、新型コロナウイルスが終息し、不安の無い日々が戻るのを、心から願っています。



## 若年母子家庭セミナーに参加して

高萩市母子寡婦福祉会

母子部 柴 田 佳代子

令和2年11月15日(日)、ラーク・ハイツ会議室にて、エステティックbiup代表の野上なをみ先生に「紫外線とマスクで疲れた素肌をスキンケアで回復できる」というお話を頂きました。新型コロナウイルスの為、マスクは必須アイテム。長期間のマスクの中の肌は、ドライヤーの熱でダメージを与えているのと同じだそうです。乾燥と刺激で肌は疲れ防御機能が低下してきているそうです。

ひりひりや、かぶれもその原因で、更に放置しておくとしみや小じわの原因にもなってしまうとの事でした。マスクの中は湿気が多く潤っているように感じますが、マスクを外した直後は、水分が急速に蒸散するので、乾燥しやすいそうです。また、マスクによる乾燥で、小じ

わも目立ちやすくなり、マスクをしていても完璧に紫外線を防ぐ事は出来ないそうです。マスクをしていても化粧は必要なのだと思いました。もっと大切なのが、洗顔後や、お風呂上がりのお手入れだそうです。化粧水・乳液・保湿液は、顔だけではなく、首やデコルテにもつけましょう。肌が疲れていると感じたら、マスクで顔パックだそうです。

毎日のマスク着用で、お肌が疲れているかもしれません。洗顔後のお手入れが、とても大切との事なので、今日からでも遅くないそうですから、丁寧にスキンケアをして、肌トラブルを解消していきましょう。



## 北茨城市母子会の現況

北茨城市母子寡婦福祉会

会長 小 林 キヨ子

新年を迎え、これまでとは違う重苦しい雰囲気での幕開けでした。

これほどまでに新型コロナが世の中に蔓延するとは夢にも思いませんでした。

それでも季節はめぐり、香りもほのかに春の訪れを告げる梅が咲き、その後、次々と若草が芽吹き、皆が待ちわびる季節に思いを馳せる今日この頃でございます。

昨年からのコロナ禍により、私共の活動も、中止、縮小を余儀なくされ、会員の詳しい状況も把握できていない昨今です。

例年おこなってきた日帰り旅行も会員の感染リスクを考慮し中止せざるを得ませんでした。

それでも、フードバンク活動のみは継続することができました。

時は年末となり、何か会員が楽しめる活動がで



きないものかと模索したところ、急遽役員でクリスマス会をやるという運びとなり、北茨城市子育て支援課に相談したところ、感染リスクを避けるため会合は持たずにプレゼントのみを配布してはどうかとの助言により、公報に載せて頂き周知を図りながら12月20日の当日をむかえ、役員総出、大忙しで対応し、マスク着用、手洗い消毒等、感染防止に万全を尽くしながら、クリスマスプレゼント・ケーキ・食事などを提供したところ、会員はもとより、会員以外の方も大勢参加し、母子会の入会を促した結果、快く全員入会していただきました。

皆さん、喜んでプレゼントを受け取り、関係各位の協力により、大盛況のうちに終了することができ、何らトラブルもなく役員一同、胸をなでおろし安堵致しました。

3月には新入学児のお祝い会も何らかの形で開催することができないか、協議して参りたいと思います。

本年においてもコロナ禍が、すぐに終息するとは考えにくく、私共、母子会にとりましても活動が制限されるのは致し方がない1年になると覚悟しておりますが、気持ちだけは強く、前向きに持っていきたいと思っております。

最後に会員お一人お一人の健康を祈りつつ、今後の母子会の発展に尽力していく所存であります。

関係各位の皆様、今後とも、より一層のご支援、ご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

「すこやかなの他は望まず初日の出」

## クリスマス会に参加して

常総市母子寡婦福祉会

和 田 与 子

友人の紹介でちょうど1年前に母子会に入会して母子会のイベントに参加してきました。



初めは、ウキウキ気分でイベントの参加を楽しみにしていた所、今回のコロナでほとんどのイベントが中止になりがっかりしていました。会長さんが色々考えていただきクリスマス会を開催してくれました。

クリスマス会では、子供達が喜ぶイベントやプレゼン

トをたくさん用意してくれて、子供達は大喜びでした。

今年はコロナの収束もなく始まりました。いつ収束するか分からない日々を毎日過ごしています。

収束して、イベントに参加できるのを子供達も私も楽しみにしています。

## 毎年恒例のお楽しみ会～苺狩り～

下妻市母子寡婦福祉会

野澤 希巳絵

1月9日、今年も恒例の下妻母子会主催の親子ふれあいお楽しみ会がありました。

一度活動を休止していた下妻母子会が再び活動を再開したのが4年前、お楽しみ会でイチゴ狩りを入れたのは3年前からとなり、地元のおいしい苺を知ってもらい母子の方々に食べてほしくて、大地 下妻農場さんに協力を得て行っています。

しかし今年はコロナ禍真只中…開催する事も危ぶまれましたが、マスクの着用・検温・手指消毒の徹底とハウス1棟を30分貸切にする事で無事においしく頂く事ができました。

イチゴ狩りの最中も、皆さんがおいしい、おいしいと言いながら、笑顔で食べていたのがとても印象的でした。

本来であれば、施設を借りて（これまた下妻自慢のか

らあげ屋）まるちゃんでお弁当を頼み、皆さんと顔を合わせて心配事や悩み事、子供の成長について、今後の下妻母子会について等を話し合う時間も設けているのですが、それも今年はやめました。それでもおいしいまるちゃんのお弁当はテイクアウトにして、皆さんに持ち帰って頂きました。

コロナ禍で例年通りとはいきませんでした。下妻ご自慢のイチゴとからあげ弁当を、皆さんにお楽しみ頂けたと思います。

皆さんも是非、機会がありましたら下妻ご自慢の大地 下妻農場の苺とまるちゃん弁当のからあげをご賞味ください。

これからも下妻市の良い所を母子会で共有し、市外の方へ広めていけたらと思います。



## 境町について

境町母子寡婦福祉会

会長 岡野 裕子

皆さん、こんにちは。

今年度、境町母子寡婦福祉会は、寡婦会員1名、母子会員18名、父子会員2名の21名で活動予定でしたが、コロナ感染防止の為に、総会を始め6月の日帰り親子旅行、8月の花火大会鑑賞、11月のバザー、12月のクリスマス会等、すべての行事を中止してきました。

今回、「ブロックだより」のお話を頂きましたが、活動していないこの時期、活動報告はありませんが、この場を借りて境町の海外交流を紹介したいと思います。

境町は、千葉県・埼玉県と隣接する、人口約24,000人の、利根川が流れる緑豊かな町ですが、海外との交流がいくつもあります。

娘が通った「長田小学校」では、1933年から80年以上、アルゼンチン共和国と交流があり、毎年、「アルゼンチンの日」があり、アルゼンチン大使が来校し、一緒に給食を食べたり、サッカーの親善交流試合を行ったり、6年生になると、アルゼンチン大使館に招かれ、郷土料理を頂いたりしています。

また、平成28年より境町の5・6年生を対象にアルゼンチン共和国派遣事業が始まり、娘も6年生の時、「第3回派遣事業」に参加する事が出来、乗り継ぎを含め片道約30時間の移動、初めての海外・ホームステイ・日

系の学校への訪問・歴史ある建物の見学など世界に目を向ける、とても素晴らしい貴重な体験をすることが出来ました。

東京オリンピックでは、アルゼンチン共和国のホストタウンに境町が登録されました。

選手の皆さんが来日した際には、今までの練習の成果が発揮できるように少しでも力になればと思っています。

そして、姉妹都市協定のフィリピン共和国のマリキナ市です。

フィリピン共和国からは、英語講師が各小中学校に配置され、夏休みには小学生を対象にサマーキャンプがあり、YouTubeやZOOMを使ったオンライン英語教室があり、英語検定の補助金など充実しています。

友好都市協定のハワイ州ホノルル市とは、子どもたちの国際交流の機会を増やす目的で締結されました。

昨年、ハワイからの中学生が境町を訪れる予定でしたが、世界的なコロナ感染の中、中止になってしまいました。

そのため、中学校ではオンラインでハワイの州の中学生と交流をしています。

境町は小さな町ですが、アルゼンチンを初め世界の国々と交流があります。

最後に、境町に転入して10年を過ぎましたが、子どもたちの将来の為に、とても充実した町だなあと実感しています。

機会があれば、境町に観光に来てください。





## お知らせ広場



### 母子寡婦福祉小口融資貸付制度について



県母連では母子家庭のお母さん又は寡婦の方を対象に10万円を限度額に貸付しています。貸付の種類としては教育資金など9種類の要件で利用することができます。特にこれからの時期、お子さんが高校、専門学校、大学へ進学する場合、入学準備金等が必要になると思いますので、お気軽にご相談ください。

なお、入学金に充てる場合は限度額20万円までの範囲で申請ができます。

\*申請する時は、各市町村の母子会長と面接が必要

\*連帯保証人必須

\*利率は無利子。ただし、最終償還日までに完納しない場合は、年3%の違約金が発生します。

貸付のご相談はお早めに！



### 母子家庭等自立促進対策事業



講習種目 「介護職員初任者研修」

日 程 6月13日～10月3日（日曜日14日間）

受講料 無料

テキスト代 6,000円

講習種目 「調剤薬局事務講座」

日 程 11月14日～1月16日（日曜日8日間）

※認定試験は1月22日（土）

受講料 無料

テキスト代 3,000円（認定試験代 別途6,500円）

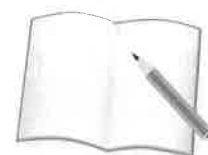
会 場 水戸市八幡町11-52 ラーク・ハイツ会議室

対 象 ひとり親家庭の父・母、寡婦

託 児 有（2歳児以上）※市町村福祉担当課へ事前登録が必要

問合せ先

母子・父子福祉センター ☎029-221-8497



### 夢を応援基金 ひとり親家庭支援奨学金制度 奨学生募集



「一般財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会」とローソングループが力を合わせ、ひとり親家庭の生徒さんを給付型奨学金で応援します。詳しくは「全母子協」ホームページを検索して下さい。

全母子協

検索



申請は、社会福祉法人「茨城県母子寡婦福祉連合会」で受け付け致します。応募期間は3月10日～4月28日（必着）。

## 令和3年度県母連主要行事予定

| 月  | 主な事業等   | 月  | 主な事業等   | 月  | 主な事業等  |
|----|---|----|---|----|--|
| 4  | ○辞令交付式(4/1)<br>○夢を応援基金「ひとり親家庭支援奨学金」(申請受付)                           | 5  | ○監事監査<br>○理事会<br>○観劇<br>○高等職業訓練促進資金貸付金(就職準備金申請受付)                                       | 6  | ○評議員会<br>○第525号母子草発行<br>○介護職員初任者研修(6/13～10/3日曜日のみ) |
| 7  | ○理事会及び表彰審査会<br>○高等職業訓練促進資金貸付金(入学準備金申請受付)                            | 8  | ○第71回茨城県母子寡婦福祉大会(8/27ザ・ヒロサワシティ会館〈県民文化センター〉)   | 9  | ○第74回関東地区母子寡婦福祉研修大会(9/26静岡)                        |
| 10 | ○親子すこやか宿泊研修(10/9～10西山研修所)<br>○第526号母子草発行<br>○若年母子家庭セミナー(A会場)(10/24) | 11 | ○全国母子寡婦福祉研修大会(11/6～7宮城)<br>○若年母子家庭セミナー(B会場)(11/7)<br>○調剤薬局事務講座(11/14～1/16日曜日のみ、1/22土曜日) | 12 | ○観劇<br>○愛の一円玉募金活動                                  |
| 1  | ○新年懇談会<br>○第527号母子草発行   | 2  | ○市町村母子寡婦福祉指導者等研修会<br>○県母子部長会議   | 3  | ○全国母子部長研修会<br>○全国母子寡婦福祉指導者研修会<br>○理事会<br>○評議員会     |

### 編集後記

- ◇ 昨年は、新型コロナウイルス感染により国内でも緊急事態宣言が発令され、深刻な闘いに明け暮れた1年でした。  
年が明けて、2度目の緊急事態宣言、茨城県も独自の宣言発令。感染拡大に歯止めがかからず、不便な生活と不安な日々が続いています。
- ◇ 今回、県母連の新年度主要行事予定を掲載しました。新型コロナウイルスの感染状況により、延期または中止となる場合も予想されますのでご了解願います。(事務局長)

## 母子会加入のお知らせ

各市町村の母子会では、新しい仲間を募集しています。  
あなたもお近くの母子会に入って、一緒に事業に参加しませんか。

お問い合わせ

(社福)茨城県母子寡婦福祉連合会  
TEL029-221-7505